

「総合治水」のPR

— 総合治水の知名度が大幅にアップ! —

概要

- 県では、河川対策に加えて、校庭貯留など雨水の流出を抑える「ためる」対策、水害を軽減する「そなえる」対策を組み合わせ「総合治水」を推進。
- 少しでも多くの人に、総合治水の必要性や効果を実感してもらうため、模型を使った出前講座や催事・イベントでのブース出展など「草の根的広報活動」を実施中。



知名度アップへの取り組み

・県下各地での出前講座やPR展示など、職員自らが取組を幅広くPR。

出前講座 H26.2 姫路市立増位小 H26.5 西宮市立大社小
H26.9 青少年のための科学の祭典(神戸市)
H26.10 H16年災害10年メモリアル事業(洲本市) 等

PR展示 H26.4 西はりまフロンティア祭
H26.10 西はりまオータムフェスタ でのPRブース出店 等



小学生を対象に模型で実験



紙芝居をつかって一緒に学習



総合治水推進週間
(毎年5/15~21)に
集中的にPRを実施

【体験した子供たちの声】

- ・校庭に雨水が溜まることで、町が守られていることが実験でよく分かった。(増位小6年生)
- ・自分の学校がみんなの命を救うことに役立てばいいと思う。(大社小4年生)

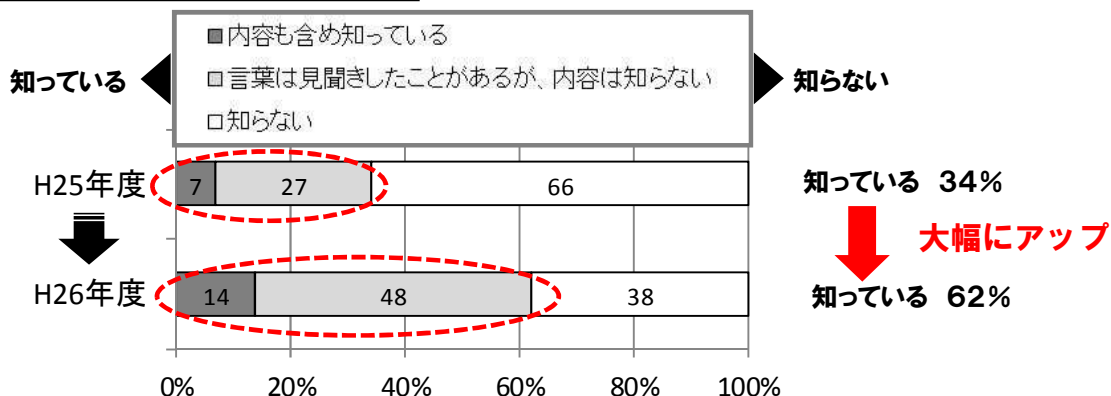
小学校の児童たちなど、これからの世代に大好評!

取り組みの効果

・総合治水を見聞きしたことがある割合(知名度)が34→62%と、大幅に向上!

●平成26年度 県民モニターアンケート

Q 総合治水を知っていますか?



雨水貯留施設（西宮市、宝塚市、伊丹市）の洪水調節効果

武庫川流域において台風第11号による雨水を
約4,500m³（家庭用風呂15,000杯相当）を貯留！

概要

- 武庫川流域では、河川対策と併せ、「ためる」対策として学校・公園・ため池等で約100箇所の貯留施設整備を予定。まず、県立高校など県有施設で率先して整備中。
- 平成24年度に宝塚東高校、阪神昆陽高校、平成26年7月末に西宮甲山高校で校庭貯留施設を整備。

位置図



豪雨の状況

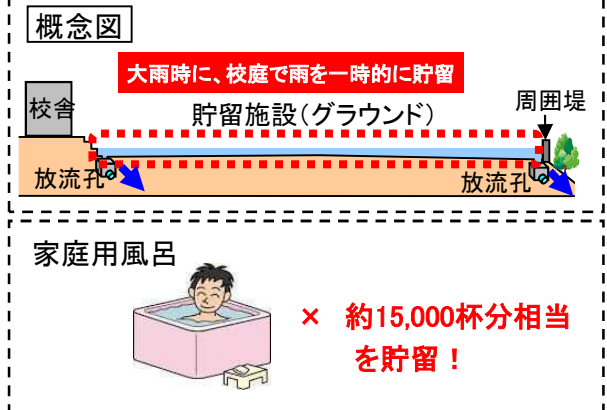
伊丹・宝塚・西宮地点で、平成23年台風第12号に次ぐ降雨を観測し、平成16年台風第23号に匹敵。

		単位(mm)		
		伊丹 (伊丹市)	宝塚 (宝塚市)	西宮 (西宮市)
平成16年10月 台風23号	時間最大	23	***	20
	24時間最大	140	160	136
平成26年8月 台風11号	時間最大	34	44	46
	24時間最大	148	164	152

概要と事業効果

3箇所の校庭に全容量約4,800m³の約9割に相当する約4,500m³を貯留！

事業箇所	貯留施設の概要 (最大貯留容量)	台風第11号時 の貯留量
①西宮甲山高校	1,350m ³ (家庭用風呂4,500杯分相当)	1,350m ³ (同左4,500杯分相当)
②宝塚東高校	2,270m ³ (家庭用風呂7,570杯分相当)	2,270m ³ (同左7,570杯分相当)
③阪神昆陽高校	1,130m ³ (家庭用風呂3,770杯分相当)	840m ³ (同左2,800杯分相当)
合計	4,750m ³ (家庭用風呂15,840杯分相当)	4,460m ³ (同左14,870杯分相当)



貯留状況

平常時 西宮甲山高校



貯留時



宝塚東高校



阪神昆陽高校

